

『農業経済研究』別冊
2012 年度日本農業経済学会論文集

目 次

第 I 部

水田経営の農地集積戦略とその評価

——新潟県内の水田単作地域を事例として——……………数寄 竜也・八木 洋憲 (1)

水田農業における組織経営体の実態と構造変化

——富山県と佐賀県の旧村を事例として——

……………小野 智昭・吉田 行郷・香月 敏孝・橋詰 登・杉戸 克裕 (9)

大規模水田作経営の収益構造

——北海道における南空知と北空知の比較分析——……………平石 学 (17)

農業経営における内部資金調達の実態と機能

——稲作法人経営の役員借入金を対象として——……………大室 健治・梅本 雅 (24)

北海道産小麦の需要拡大に向けた今後の対応方向……………吉田 行郷・葉師寺 哲郎 (30)

耕畜連携による飼料受委託生産の経済構造とその安定化策

——北海道十勝地域を対象として——……………山内 季之・林 芙俊・仙北谷 康 (38)

TMR センター下における酪農経営間経済性格差の形成要因

——北海道における事例分析——……………岡田 直樹 (45)

Analysis on the Attitude of Employed Japanese Farmers from the Viewpoint of Human

Resource Management……………Wenlu Cao, Lily Kiminami, Akira Kiminami (53)

集落営農組合の知識管理と地域における役割

——兵庫県篠山市の黒大豆生産を事例として——……………山口 創・中塚 雅也 (61)

中山間地域における協業型法人の効果と意義

——北海道津別町の「地域拠点型協業法人」を事例として——……………工藤 康彦 (69)

民宿経営の変容が農業構造に与える影響

——新潟県南魚沼市石打地区を事例に——……………桑原 考史 (77)

一酪農家の展開からみた「宮田方式」の問題点

——1959～2011 年について——……………曲木 若葉 (85)

系統農協の米共同販売における早期契約の意義と問題点

——ホクレン、きたそらち農協を事例として——……………小池 (相原) 晴伴 (93)

圃場分散が農作業圃場間移動に与える影響解析

——水田飼料作収穫作業を対象とした TSP による圃場間移動シミュレート——

……………西村 和志・若林 勝史・田口 光弘 (100)

生鮮野菜の市場間価格差と産地の集約度に関する一考察

——夏カボチャと夏ハクサイの比較——……………中川 恵理子 (106)

第 II 部

学校給食への地場野菜供給の支援に関する一考察……………山田 浩子・野見山 敏雄 (114)

農商工連携、6 次産業化の類型的特性把握……………杉田 直樹・中嶋 晋作・河野 恵伸 (122)

沖繩観光における地域農産物と郷土料理に対する訪問客の評価	
——リピーターに着目して——	霜浦 森平・中村 哲也・丸山 敦史 (130)
産業連関表からみた食用農水産物・食料品の商業マージン率の動向	
.....	薬師寺 哲郎・吉田 行郷 (138)
日本のコメの輸出可能性	
——台湾における需要分析を通して——	三宅 翔太・草苺 仁 (146)
家計における主食消費の実態と世帯類型別の特徴	
——家計調査個票データを用いて——	小野 史・山本 淳子・大浦 裕二 (151)
食事形態に対する勤労者世帯の反応	
——世帯主の勤め先企業規模別データによる分析——	谷 顕子・草苺 仁 (159)
非正規雇用の増加が家計の食料消費に与える影響	岩崎 郁実・草苺 仁 (164)
食生活の外部化と食料の生産変動の要因	住本 雅洋・草苺 仁 (168)
国産米の購入意向に関するアンケート調査の信憑性	草苺 仁 (173)
Japan's Import Demand Structure of Banana	
.....	Pongthai Thaiyotin, Hisato Shuto, Ryuichi Shigeno (178)
近年の消費者によるバターの「買い急ぎ」に関する分析	空閑 信憲 (186)
 第 III 部	
津波被害地域における復興組合活動の実態と課題	
——福島県相馬市を対象として——	ニヤムフー パットデルゲル・山田 崇裕・ 鈴村 源太郎・渋谷 往男・ルハタイオパット プウオンケオ・門間 敏幸 (192)
震災からの営農再開に対する農業者の意向と支援ニーズの把握	
——宮城県仙台東部地域を事例にして——	小賀坂 行也・安江 紘幸 (199)
東日本大震災における水産加工業の被災状況と復旧の要因分析	鎌田 譲・薬師寺 哲郎 (207)
放射線量分布マップ作成と食品検査体制の体系化に関する研究	
——ベラルーシ共和国と日本の原子力発電所事故対応の比較分析——	小山 良太・小松 知未 (215)
住民による放射性物質汚染の実態把握と組織活動の意義	
——特定避難勧奨地点・福島県伊達市霊山小国地区を事例として——	小松 知未・小山 良太 (223)
東日本大震災が食卓へ及ぼした影響	伊藤 雅之 (231)
福島産果樹の安心・信頼回復に向けた消費者選好分析	
——東日本大震災後におけるアンケート調査からの接近——	中村 哲也・丸山 敦史 (238)
 第 IV 部	
SPS 紛争におけるリスク・コミュニケーションの問題点に関する一考察	
——火傷病 SPS 紛争を事例にして——	相原 延英 (246)
外国人技能実習生の監理における JA の役割	
——茨城県八千代町および神栖市におけるヒアリング調査による考察——	軍司 聖詞 (254)
水稻直播栽培の温室効果ガス排出量に関する LCA	小野 洋・大谷 隆二・迫田 登稔 (260)
水田飼料資源を利用した子牛生産の LCA による環境影響評価	千田 雅之・荻野 暁史 (267)
生産費を利用した環境負荷の把握に関する一考察	
——園芸作物における特別栽培を事例として——	日向 貴久 (275)
農業の社会的価値と最適資源配分のための制度設計	玉井 大地・草苺 仁 (281)
水路の維持管理の共同体意識に関する社会実験型研究	
——課題抽出型ワークショップの情報伝達効果の DID 推計——	
.....	西原 是良・竹田 麻里・中嶋 康博 (286)

市街化区域内農家の生産緑地と宅地化農地所有行動の分析 ——事由別の所有コスト評価による——	岩田 裕也・八木 洋憲 (294)
農づくりを通じた棚田保全活動に関する一考察 ——オーナー制度型とコミュニティビジネス型の取り組みから——	宮井 浩志・坂本 真理子・澤田 俊明 (301)
農家による障がい者等の体験受け入れの現状と課題	笹井 美希・川手 督也 (309)
食料輸出規制の発動要因 ——プロビット・モデルによる実証分析——	作山 巧 (317)
第 V 部	
黒龍江省農墾区における稲作の発展	加古 敏之 (325)
中国新疆ウイグル自治区における農業経済成長へ影響を及ぼす要因に関する分析	居来提 熱依木・草苺 仁 (333)
中国における穀物需給構造とその国際的な位置 ——穀物消費構造の視点から——	趙 玉亮・谷口 信和 (337)
A Study on Dynamic Impacts of Chinese Exchange Rate on China's Vegetable Exports: A Case of Vegetable Exports to Japan	Qianhui Gao, Shoichi Ito, Hiroshi Isoda, Hisamitsu Saito (345)
為替レートの変動が PSE へ及ぼす影響 ——韓国事例を中心に——	金 鍾仁 (352)
生鮮食品ネット取引における間接流通の意義に関する研究 ——韓国の事例を中心に——	金 鍾和・森高 正博・福田 晋 (357)
台湾における口蹄疫清浄化政策の評価 ——養豚農家の行動分析を通して——	細野 ひろみ・賀 靖純 (365)
従量制灌漑水利費課金制度の社会実験調査 ——フィリピン、ポホール重力灌漑システムの事例——	横山 繁樹・加治佐 敬・宮崎 達郎 (373)
カンボジア農村における子どもの健康と教育 ——パネルデータによる実証分析——	三輪 加奈 (379)
Income Distribution in Thailand: Decomposition Analysis of Regional Income Disparity	Narissara Charoenphandhu, Yukio Ikemoto (387)
米契約栽培による肥料前貸しが収量に及ぼす影響 ——ラオスピエンチャン平野農村の事例——	島野 洋一 (395)
Decentralized System and Budget Allocation for Rural Development in Indonesia: A Case Study of Purbalingga District, Central Java Province	Sutiyo, Keshav Lall Maharjan (403)
パーム油輸出における市場支配力の推計 ——インドネシアおよびマレーシアを対象として——	中島 亨 (410)
An Evaluation of Land Reform in Nepal: Simulation Based Approach	Damaru Ballabha Paudel, Katsuhiko Saito (418)
Agricultural Growth Linkages: A Social Accounting Matrix Analysis for Mongolia	Enerelt Murakami (426)
ジャワ島におけるミクロレベルのフードセキュリティ ——客観的指標と主観的指標を用いた考察——	松本 寿子・石田 章・横山 繁樹 (434)
誰が天候インデックス保険を購入するのか ——ザンビア農村における販売実験——	三浦 憲・櫻井 武司 (442)

組織を通じた農村環境保全に関する考察

——オランダの環境協同組合——……………西澤 栄一郎・合田 素行 (450)

EU における SPS 受給権の功罪

——ドイツにおける 2005 年度の運用に焦点を当てた制度研究——……………松田 裕子 (458)

米国における外国籍による農林地取得の規制と担い手の受入れ

……………内山 智裕・西嶋 亜矢子 (463)

投 稿 規 程

《会 報》

編集委員会だより